



FINDS TARGETS

新規創薬ターゲット候補に対する、
検証ツールを提供します

FINDS Targetsの特徴 : Try our "Fine Trio"
FINDS Targetsでは研究のステージが2つに分かれます。

第1ステージ

研究者の皆様は、ご要望の研究ツールを用いて疾患関連タンパク質
または遺伝子の *in vitro* から *in vivo* 薬効評価を通じて、
創薬ターゲット分子としての妥当性を検証いただきます。

以下の3つが、弊社の "Fine Trio" となります。

審査により採択された研究に対して、ご要望のツール化合物を創出し、提供いたします。

◆環状ペプチド※ ◆核酸 ◆モノクローナル抗体

※ペプチドリーム社 PDPS (Peptide Discovery Platform System) 技術

第2ステージ

第1ステージにて一定の研究クライテリアに達した場合には、
共同研究への移行をお願い致します。



**シオノギ製薬では
以下の疾患領域と関連する新規分子の
創薬標的としての妥当性を検証する研究を募集致します。**

募集テーマの対象

概 要

精神疾患

- 標的薬が精神疾患の改善、治療につながると期待される分子。特に、様々な精神疾患に共通する症状となっている認知機能障害について、その症状を広く改善すると期待されるものが望ましい。

感染症

- 標的薬が HIV や HBV の潜伏感染に対する再活性化の予防や根治治療につながると期待される分子。
- 標的薬が広域性を有する抗ウイルス薬につながると期待される宿主側の分子。特に、幅広いウイルスが共通して増殖に必須とするもの、あるいは宿主免疫の賦活化につながるものが望ましい。

サルコペニア

- 標的薬が筋機能を維持、亢進すると期待される分子。特に、最大筋力や筋持久力などの筋組織のメカニカルな機能を亢進するもの、あるいは病態時（ただし、ALS などの神経変性疾患は除く）における骨格筋の脆弱化を抑制するものが望ましい。

ペプチド創薬

- PPI 阻害など、ペプチド創薬が低分子薬、抗体医薬、核酸医薬に比べて明確な優位性を示す標的分子。特に、感染症、精神疾患、NASH、CKD、サルコペニア、腫瘍免疫を対象としたもので、細胞外の標的であることが望ましい。

核酸創薬

- 核酸医薬に基づく発現の制御などが疾患の改善や治療につながると期待される標的遺伝子。特に、感染症、精神疾患、NASH、CKD、サルコペニア、腫瘍免疫を対象としたものが望ましい。

詳細は下記 URL をご確認ください

<http://www.shionogi.co.jp/openinnovation/ja/>

